

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 10 月 6 日作成 第 1.0 版

研究課題名	乳がんにおけるサイクリン 依存性キナーゼ 11 タンパク質複合体の発現量を評価する観察研究
研究の対象	2011 年 7 月～ <u>2013 年 2 月</u> に横浜市立大学附属病院のバイオバンクに登録された乳がん検体を対象とします。
研究の目的	乳がんは日本人女性で最も頻度の高い悪性腫瘍の一つであり、罹患率は年々増加しています。早期発見・早期治療の普及により予後は改善してきたものの、再発や薬剤耐性を伴う進行乳癌はいまだ治療困難であり、新たな分子標的治療の開発が強く求められています。CDK11 は乳がんを高発現が知られており、CDK11 を阻害することで乳がん細胞の増殖が抑制されることが報告されております。本研究では CDK11 とその活性に関わる因子の発現量を調べることで、乳がん細胞増殖の仕組みと因果関係を解明して、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	この研究では、バイオバンクに登録された乳がんの組織サンプルを用いて、CDK11 と結合因子のタンパク質発現量を解析します。
研究期間	西暦 2025 年 10 月 30 日（研究機関の長の許可日） ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日 試料・情報の利用、提供を開始する予定日：西暦 2025 年 10 月 30 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【試料】 2011 年 7 月～2013 年 2 月に横浜市立大学附属病院のバイオバンクに登録された乳がん検体 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 背景情報：年齢、性別、病理診断
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。 検体や情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で検体は院内の規定等に従って廃棄し、情報は復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	本研究では、個人を特定できる資料・情報を当院で取り扱うことはないため、本項目は該当しません。

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の 管理について 責任を有する 者	本研究は、バイオバンクに登録された特定の個人を識別できない研究対象者の試料・情報のみを使用するものであります。試料の管理については、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学 医学部 分子生物学 堀内恵子
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、本研究は横浜市立大学 学内先進支援事業 横浜市がん研究補助金 「活性化型タンパク質間相互作用を基盤としたリン酸化基質の同定」の研究費を用いて行います。本研究における検討項目について、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者 の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学 医学部分子生物学 （研究責任者）堀内 恵子
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで試料・情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。	
問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学医学部分子生物学教室 （研究責任者・問い合わせ担当者）堀内 恵子 電話番号：045-787-2597（代表） FAX：045-785-4840	